

A man and a woman are standing outdoors, looking at a mobile phone together. The man is holding the phone. They are in a scenic setting with a lake, trees, and a clear sky. The text is overlaid on the right side of the image.

# Nokiaにおける RosettaNet材料組成の管理

2004年11月25日、東京

**Tomi Heikkinen**

**RosettaNet Champion Nokia**

**Olli-Pekka Mäkirintala**

**RosettaNet材料組成プログラム・ディレクター**

# 目次

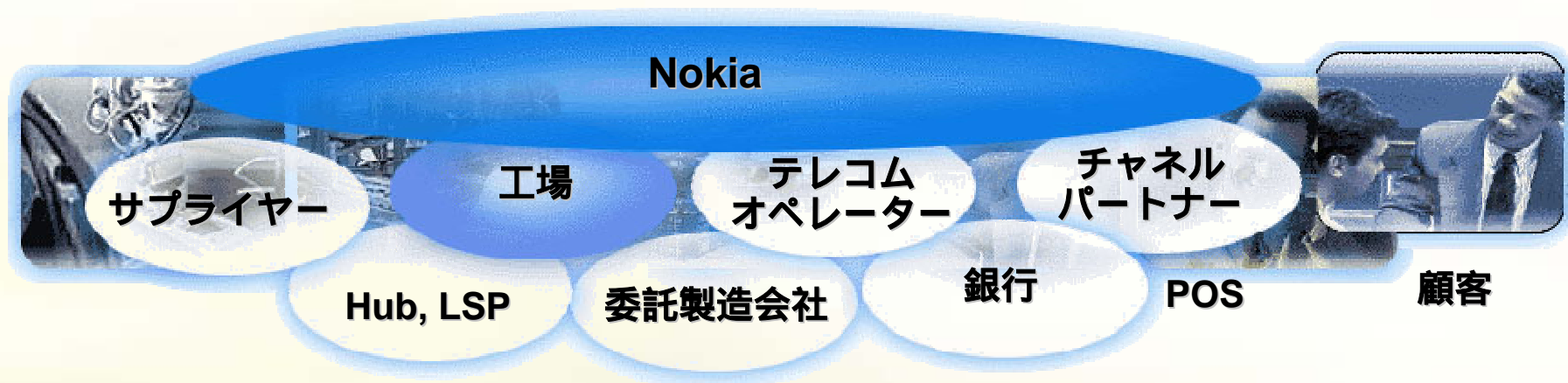
- Nokia**需要供給ネットワーク** (Demand Supply Network) におけるRosettaNet
- Nokia**のRosettaNetアクティビティ**
- **材料組成**

# Nokia需要供給ネットワークに おけるRosettaNet

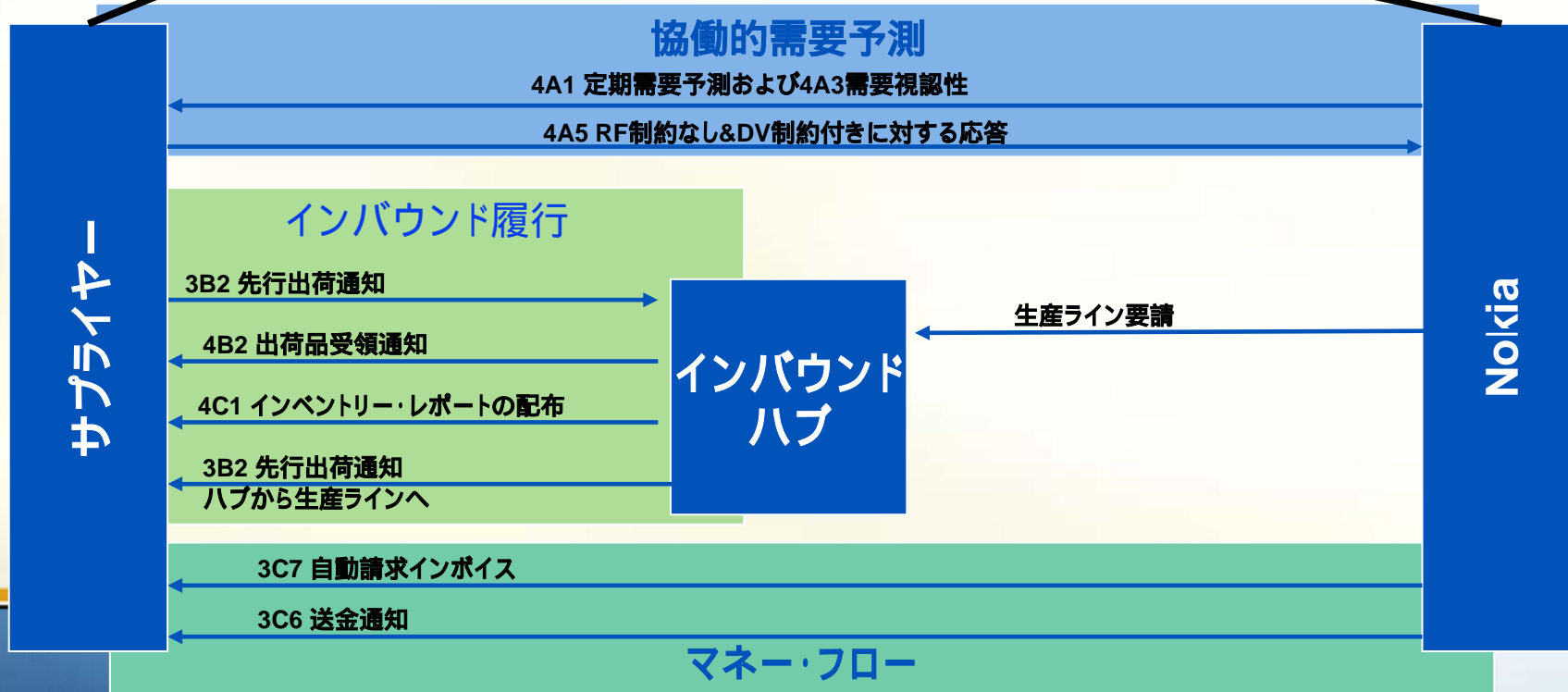
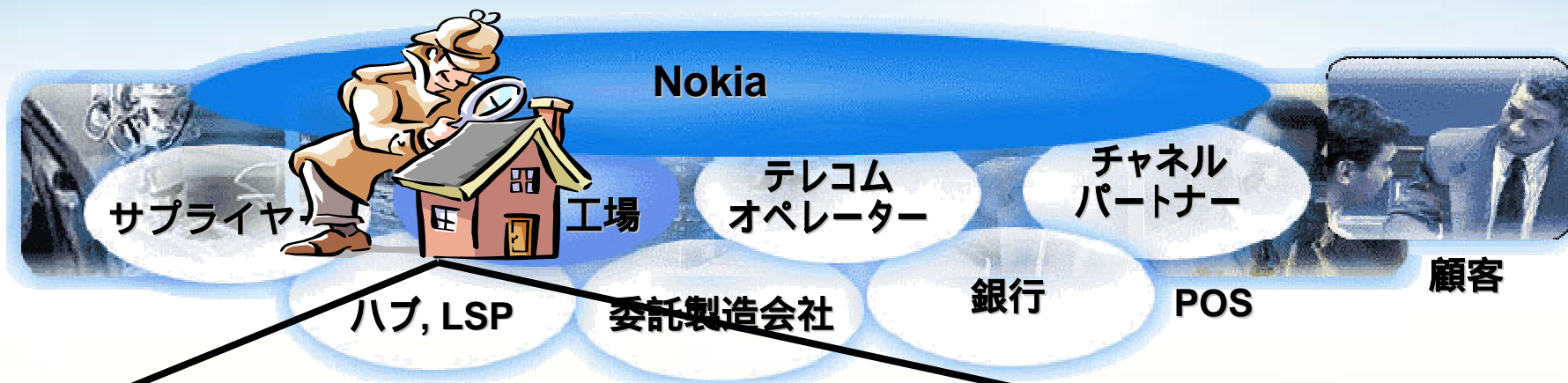


# "広域エンタープライズ"

- 需要供給ネットワークのエンド・ツー・エンド統合
- エンド・ツー・エンドの効率、スピード、視認性
- 実装アクション - プロセス統合
  - ウェブ・ベースのプロセス統合(エクストラネット・ポータル)
  - システム・ツー・システム統合 = RosettaNet



# サプライ・チェーン統合におけるRosettaNet



# RosettaNetには必要なものが備わっている

管理されたプロセス

統合化された  
バックエンド・プロセス

オープンで  
グローバルな標準

共同開発

リアルタイム通信



# Nokiaの RosettaNetアクティビティ



# プロセスとシステム統合の3つのキー・イネーブラー

RosettaNet審議会メンバが推進

## RosettaNet採用

- 標準に関する合意とコミットメント
- 関連業界における必要数量

RosettaNetマイルストーン・プログラム  
必要に応じた標準開発

ビジネス優先順位に基づいた実装

## Nokia S2S統合優先順位

- ビジネス・モデルより導かれる
- 何を、なぜ統合するかの明確な見通し

## 内部準備: Nokiaおよびパートナー

- "有言実行"能力
- 実装を通じた回収

# RosettaNetの構造

## ■RosettaNetエグゼクティブ・ボード(Nokia)

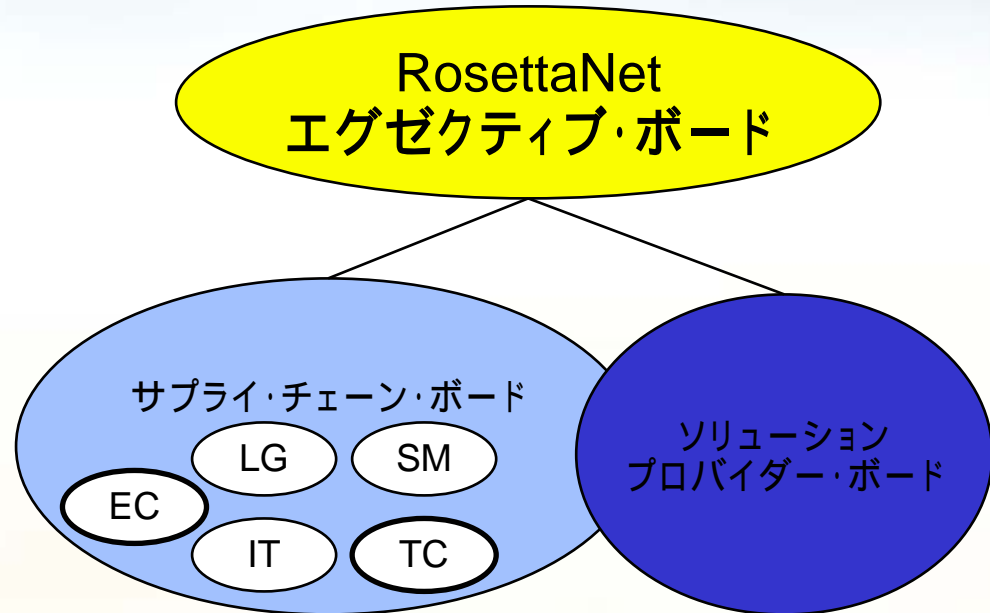
- RosettaNet全体経営管理

## ■サプライ・チェーン審議会

- EC (半導体・電子部品ボード) (Nokia)
- IT (情報機器)
- SM (半導体製造)
- TC (テレコム) (Nokia)

## ■ソリューション・プロバイダー・ボード

- サービス&ソリューション・プロバイダー



Jean-Francois Baril, Nokia CMO

ソーシング&調達部上級副社長

Matte Heikkilä, Nokia CMO

ビジネス開発部副社長

RosettaNet採用

Nokia S2S統合アジェンダ  
-ビジネス・モデルより導かれる  
-何を、なぜ統合するかの明確な見通し

内部準備: Nokiaおよびパートナー  
-「有言実行」能力  
-実装を通じた回収

NOKIA

# RosettaNetマイルストーン・プログラムにおけるNokia

- **材料組成マイルストーン・プログラム**
  - プログラム・ディレクター: Olli-Pekka Mäkirintala
  - 環境関連コンポーネント・データ管理
- **支払い関連マイルストーン・プログラム**
  - プログラム・ディレクター: David Blair & Jaya Machet
  - 電子業界と銀行間の標準インタフェース
- **テレコム業界におけるオーダーからキャッシュまで**
  - テレコム業界における"オーダーからキャッシュまで"PIPコレオグラフィと実装ガイドラインの調和
  - Nokia RosettaNet Telecom Champion: Veli Isoniemi
- **フォローアップ・マイルストーン・プログラム(正式出向の人材なし)**
  - 電子税関申告、Timo Vierikko
  - 営業報告、Miikka Andersson
- **調査中のNokiaのリソース投入および参加**
  - 出荷ブックイングとステータス (Intel)
  - 運賃請求 (Intel)
- **基礎プログラム**
  - RosettaNetとウェブ・サービスの収束化、Mitri Abou-Rizk
  - 自動実施可能性、Sami Salo
- **プログラム2002-2003**
  - 基礎: 次世代アーキテクチャ、Barbara Heikkinen
  - マイルストーン: 協働的需要予測、Miikka Andersson
  - マイルストーン: 自動請求インボイス、Eija Repo

RosettaNet採用  
- 標準に関する合意とコミットメント  
- 電子およびテレコム業界における必要数量

Nokia S2S  
統合優先順位

内部準備: Nokiaおよびパートナー  
- "有言実行"能力  
- 実装を通じた回収

**NOKIA**

# 2004年10月現在のNokia RosettaNet開発ステータス

•顧客: 8プロセス・チャンネル(PIP 3A4, 3A7, 3B2, 3C3)

•顧客 5社

•LSP: 2プロセス・チャンネル(PIP 3B2)

•LSP 2社

•(CMOではなく)CEM: 3プロセス・チャンネル(PIP 3A4, 3A7, 3B2)

•CEM 1社

•支払い開始: 1プロセス・チャンネル

•銀行 1社

•NETサプライヤー: 10プロセス・チャンネル(PIP 3A4, 3A7, 4A1, 4A5)

•サプライヤー(CMOと重複) 5社

•CMOサプライヤー: 198プロセス・チャンネル(PIP 3C6, 3C7, 4A1, 4A3, 4A5)

•サプライヤー 51社

•合計: 61パートナー、222プロセス・チャンネル

RosettaNet採用  
- 標準に関する合意とコミットメント  
- 電子およびテレコム業界における必要数量

Nokia S2S統合アジェンダ  
- ビジネス・モデルより導かれる  
- 何を、なぜ統合するかの明確な見通し

準備と実装

# 材料組成



# なぜ材料組成が必要か

主な理由:

- 法的要求条件を満たす
- 製品設計の環境改善を推進
- 顧客、再資源業者、およびその他の利害関係者からの問い合わせに答える
- このため、Nokiaは他の多くの企業と同様に材料組成アクティビティを開始

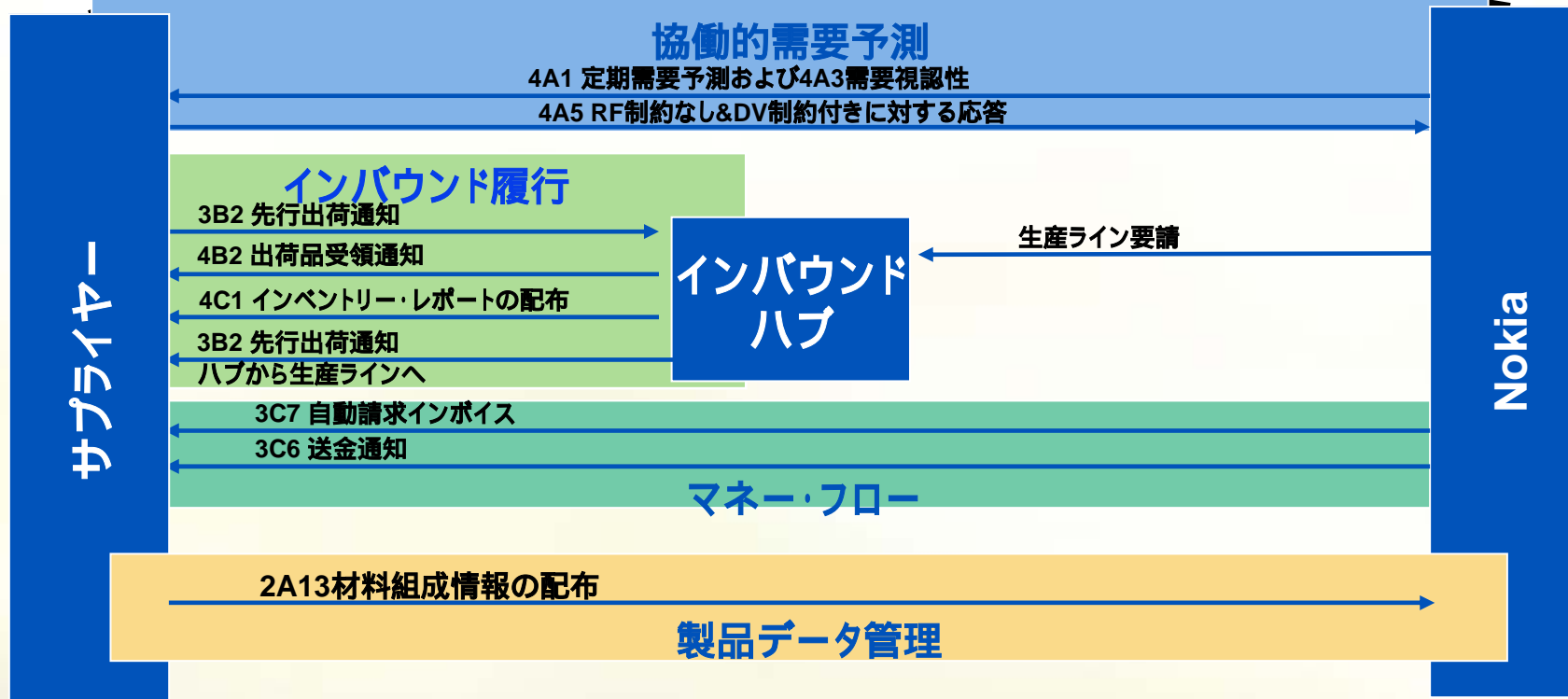
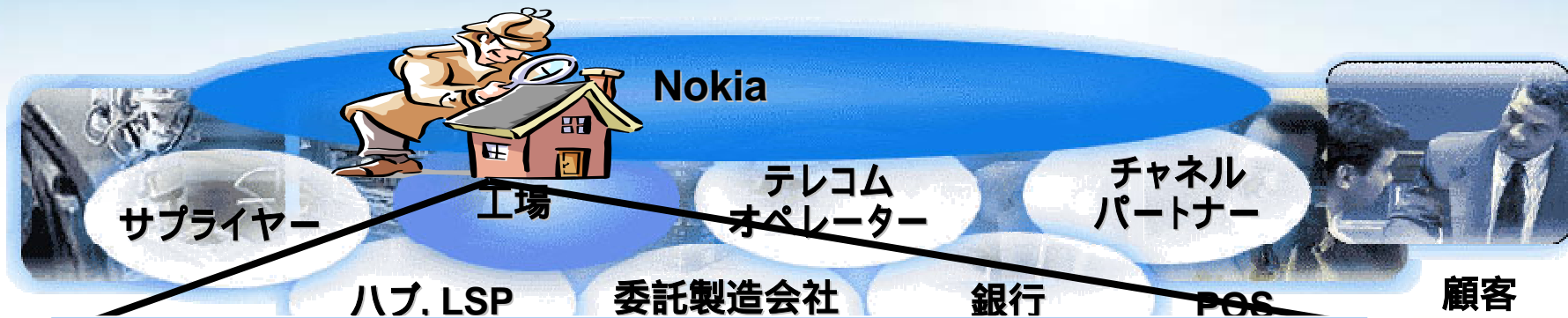
# 課題

- **業界の現状**
  - 多数の異なるソリューション(一般にMicrosoft Excelベース)
  - これらのソリューションで使用されるデータ・モデルはさまざま
  - 一般に分離型アクション - 他の製品技術データへの接続はない、またはきわめてあいまい
- **標準化されていない**
- **結果:**
  - ⇒ サプライ・チェーンに余計な労力が必要
  - ⇒ 非効率
  - ⇒ 無駄な費用

# なぜRosettaNetか

- **標準ソリューション**
  - RosettaNetは、eビジネス標準向けのグローバルな業界全体のフレームワーク
- **効率的ソリューション**
  - フレキシブル
  - 材料組成特定ではない -> 再利用可能性&費用効率
  - 分散型
  - 人的労力を最適化できる
- **統合型アプローチを実施可能に**
  - 材料組成 通常ビジネスの一部(設計、コンポーネント選択、...)

# サプライ・チェーン統合におけるRosettaNet



# 材料組成情報収集のためのNokiaのアプローチ

- サプライヤーとのビジネス・プロセス開発に沿ってRosettaNet材料組成PIPを実装
- 材料組成情報を提供するための条件を、Nokiaサプライヤー要求事項に組み入れる
- 材料組成情報は、通常のコンポーネント/部品技術データの一部として当社のPDMシステムに格納
- ユーザーは、たとえばコンポーネント・エンジニアの場合もあり、このアクションは環境スペシャリストに限定されたものではない

# 材料組成情報の用途

- このデータは次の用途に使用される:
  - 当社製品が適用条件を確実に満たすようにする
    - 環境
    - 顧客安全性
    - その他の安全性(たとえば製造現場での安全性)
  - 当社製品の材料内容を積極的に確実に管理する
  - 設計時の設計代替/決定を分析する
  - 利害関係者向けに必要な情報を作成する。たとえば製品エコ宣言など  
(参照: [www.nokia.com](http://www.nokia.com) / About Nokia)
- Nokiaは、これらの目標を確実に達成できる"できる限り完全な"データを求める

# 材料組成に関するRosettaNet PIP®

- 内容
  - 情報交換とソフトウェア開発/実装に必要な定義とドキュメントを含める
  - データ・モデルはフレキシブル -> 簡単なタイプと複雑なタイプの宣言が可能
  - データ・モデルとその内容物は完全に分離(たとえば、PIPには、個々の物質やしきい値などに関する定義は含まれていない)
- 第1段階の開発は今年中に完了予定
- 2つのPIP(2A10と2A13)
  - 既存の機能や計画中の機能の他、企業のサプライ・チェーンやRosettaNet戦略により選択が異なる
  - 情報入手先: [www.RosettaNet.org](http://www.RosettaNet.org) (Material Composition)
- Nokiaは現在、PIP 2A13を試験中であり、2005年の配備展開に向けて準備中

ありがとうございました

